

勢和小学校だより

発行日：令和6年11月12日 第17号



子どもの心に火を着ける

～5年生研究授業から～

本校の授業づくりに関する職員の目標は「子どもの心に火を着ける」授業の展開です。つまり、子ども達が意欲的・積極的に授業に取り組んでいることが本校の目指すゴールです。

意欲的・積極的と言っても、子どもたちが個々バラバラに取り組むことは想定していません。「分からない」と言え、「分からないことがある?」と寄り添えるクラスづくりを進めながら、子どもたちが課題解決に向け、共に取り組むことを目指しています。

この目指すゴールに向け、本校では、授業で課す課題をいかに興味・関心づけるか、授業の導入（授業最初の5分間）にこだわり、子どもたちの多様な意見を出せるように発問を工夫し、子どもたちが学んだことを確実に定着させられるようアウトプットの機会を保障するようにしています。

授業導入のスキルアップについては、実践したものや今後の授業で計画していることについて放課後に職員同士で意見交換しあう機会を設けています。この取組みは町内外の学校から注目されています。

子どもたちのアウトプットの機会を確保するためには、本校ではペア・グループ活動を積極的に取り入れています。ペア等の活動では、「分からないことある?」から始めさせ、仲間の困り感を共有することを大切にしています。また分からないことがあっても、全て教えることを子どもたちに求めてはいません。

「どこまで分かる?」「ここからは自分でできる?」など、相手のことを尊重させることに重きを置いています。

先日、全職員が参観した5年生の公開授業では、ペア活動に対して高い評価がされました。日頃から積極的に取り入れているペア等活動の成果が出て、自分たちでペア・グループ活動を進めることができるようになっていきます。分からなくて困っている人には、その人の困り感を解消するために説明したり、困っている人は、説明している仲間の言葉を聞き、「あっ確かに。」「よく分かった。あなた天才!」など、素直な反応がそれぞれのペア等で出たりしていました。

ところで、前述の「子どもの心に火を着ける」について。

このフレーズは、アメリカの教育学者ウィリアム・アーサー・ワードの言葉の一部です。その全てを紹介しません。

凡庸な教師はただしゃべる。良い教師は説明する。すぐれた教師は見本を見せる。

しかし、最も優れた教師は子どもの心に火を着ける。



教師が一方向的にしゃべり、説明する授業から、子どもたちが共に考え工夫し課題を解決していく授業、つまり子どもたちが主体的になる授業が展開できるよう、日々研鑽しています。

出席停止届を廃止します

インフルエンザ等の感染症に罹患した際に、これまでは出席停止届を記入し、学校に提出していただいていたが、多気町内全ての小学校で11月6日から、廃止することになりました。

感染症に罹患された場合は、QRコード(スマホ)を活用した連絡か電話または連絡帳で、その旨、伝えていただくだけで構いません。



会計報告は年度末1回に

これまで前・後期別にお知らせしていた学級費会計報告を年度末1回のみに変更します。令和7年度から実施します。



ご家庭でも校歌を

～勢和小校歌コード譜紹介します～

本校出身の保護者の方は多いことと思います。子どもの頃に練習した校歌は今でもはっきり歌詞やメ

ロディを覚えておられることでしょう。

ご家庭で気軽に演奏し、お子さんと一緒に歌えるよう、コード譜を紹介します。

原曲キーはFですが、Dで表示しています。原曲キーで歌われる場合は、移調またはギターならカポで対応願います。

D	D	D	A
---	---	---	---

大空 高く 雲晴れ て

D	G	A	D
---	---	---	---

朝日 輝く からすだ け こ

Em	Bm	G	D
----	----	---	---

ころ あらた にあ お ぎつ つ ひか

D	Bm	G	A
---	----	---	---

りをい だ くわ かきゆ め せ

D	Bm	G	D A
---	----	---	-----

いわせい わ あ か るい 母 校

D

(う)



認 証

学年	名前	役職	学年	名前	役職
6年	中川 実奈	放送委員会委員長	6年	齋藤 有里	図書委員会副委員長
6年	田口 冬馬	放送委員会副委員長	5年	森本 隼翔	園芸委員会委員長
6年	吉田 凌河	保健委員会委員長	5年	小柳 翔大	園芸委員会副委員長
6年	福森 香奈	保健委員会副委員長	6年	鎌形 虎珀	体育委員会委員長
6年	吉田 空翔	図書委員会委員長	6年	内山 蒼人	体育委員会副委員長

後期委員会役員を紙面の都合上、2回に分けて紹介します。安全・安心・快適な勢和小学校になるよう力を発揮してくれることを期待しています。